

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	きこえとコミュニケーションのうさぎクラブ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 23日	～	2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 52	(回答者数)	43
○従業者評価実施期間	2024年 12月 23日	～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 10	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の専門性を活かし、お子さんの特性に合わせた療育を行っていること	定期的に事業所内で検討会を行う時間を確保し、療育の内容の共有と質の向上に努めている。	職員の専門性を高めるために必要な研修等の取り組みの充実を図ることが必要である。
2	個別での指導と保護者との面談を行うために必要な職員体制をとっていること	スケジュール確認の度に職員間で担当者を確認し、公平に担当者が割り振られるようにしている。	保護者同士の情報交換、交流を図るためのプログラム、部屋の使い方の工夫が必要である。
3	難聴に特化した療育プログラムを有し、法人内の耳鼻咽喉科クリニックとも連携していること	通所児の医療情報を必ず確認し、連携機関とのカンファレンスを行っている。	聞こえや補聴状態をより細やかに把握し療育に反映させる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導室が開放された空間のため、周囲の音・視覚刺激をこどもが気にするという保護者からのご指摘が多い。	個室の数が少なく、広い指導室を使用せざるをえないこと。	間仕切りの活用、机と椅子を設置する向き等、個別指導に適した空間の使い方の工夫に努める。
2	希望する曜日・時間帯に予約が取れないというご指摘が多い。	特定の曜日、時間帯に希望が集中しており、公平にご利用いただくための調整に苦慮している。	空きが出た場合の振替のご案内を充実させる。
3	非常時の対応について全ての利用者への周知が不十分であること。	個別療育を基本としているため、非常時の訓練は全ての利用者を対象とすることが難しい。	非常時の対応について全ての利用者に向けた定期的な情報発信の仕方を工夫する。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 きこえとコミュニケーションのうさぎクラブ

公表日 2025年 2月 28日

利用児童数 52 2024年 12月 23日 回収数 43

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	6	0	0	・もう少し広いと子供達も動きやすいのかなと思います。 ・グループ活動の時、親も一緒に動きが必要な時は少し狭く感じる。	国の定めた基準に沿っていますが、空間の使い方の工夫に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	40	1	1	1	・行く日によって変わることがある。 ・もっと選べる時間が増えると嬉しいです。 ・1対1で指導していただいている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	9	1	3	・周りの環境音が少し気になることがあります。 ・車椅子が必要な子は入口から通れない。 ・個室ではなくオープンスペースのため、周囲にある物に興味をひかれやすく集中力が途切れることがある。 ・音の環境（難聴児にとって静か）がとても良いとは言えないと思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	4	1	1		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	3	0	2	・専門性のある支援が受けられているのかもしれないが、活動と発達の促しのリンクがイメージしづらい。 このためにこれをやると説明して欲しい。 ・家庭でどのようなことに気を付けて生活すればよいか、など積極的にアドバイスをいただきたいです。 ・適切な助言をいただけるので、とても助かります。	説明の機会を増やすとともに、要望を伺うための工夫をしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	3	0	4	活動と発達の促しのリンクがまいちわからないので、支援内容とあっているのかわからない。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	6	1	1	計画自体は子どもにあったものなのかもしれないが、なんのためにやっている活動なのかわかりづらい。	説明の機会を増やすように努めます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	5	1	2	設定された活動自体がなんのためのものかわからないため。	説明の機会を増やすように努めます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	4	0	3		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	4	2	1	・発達が遅いからかもしれないが、通い始めてから毎回同じことをやっている。 ・グループ活動や個別の活動があり、いろんな刺激をもらっています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	11	15		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39	4	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	4	2	1	いつ更新されるか、どうだったかの不明。	丁寧な説明に努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	10	2	8	・行われているのかもしれないが、告知がないため参加したことがない。 ・母子同室での指導なので。	個別での実施が中心ですが、ご希望を確認したうえで研修会の実施についても検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	36	4	3	0		

児童発達支援

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	6	2	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39	2	1	1	気を遣われ過ぎているように思う。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	3	6	13		事業所全体としての実績はありませんが、ご希望を確認したうえで開催について検討していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	4	3	4	聞いたことが一ヶ月以上返答なし。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	2	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	7	3	11		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41	0	0	2		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	6	1	20	・訓練に関しては告知もないし参加したこともない。 ・訓練についてはわからない。	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	4	2	31		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	2	1	15		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	2	1	23	事故怪我がまだ発生したことがないため不明。	
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	42	1	0	0	毎回通所すると楽しく遊ばせてもらっています。	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	8	1	2	・家から遠いためか、疲れていると行き渋る事があります。行けば楽しめています。 ・日記の書き損じや順番間違えを指摘されるから書けないと言って書かなくなりました…。うまく書けないから嫌だと。通うのは大好きです。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	34	6	1	2	・まだ口話が難しい年齢において、支援それぞれの目的とゴールが見えづらいと感じる。 ・もう少し積極的に家庭での過ごし方のアドバイスや今後の方針の見直しなどを共有していただけると有り難いです。 ・いつも細やかに支援していただいて感謝しています。大変満足しています。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		きこえとコミュニケーションのうさぎクラブ		公表日		2025年 2月 28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	3
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		8	1	・保育士が必要な方に配置されるようなシフトの工夫 ・丁寧な人員配置計画をしている。 ・保護者対応(聞き取りやご相談)とお子様対応でスタッフ2人体制で療育を行うことや、お子さんの状態に合わせてSTと保育士と2人体制で療育を行うことがあり、相談しやすい環境だと思う。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	6	構造化されてはいないが、部屋が限られているのでわかりやすいと思う。	・利用する部屋の情報での視覚化が必要な方もいると思われる。 ・建物施設のバリアフリー化は課題。 ・全体的なスペース不足 ・防音環境であれば、なお良い。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	4	狭い空間で可能な活動を工夫している。	・必要最低限の清掃は行っているが、行き届いていない箇所もある。 ・清潔である。グループなどのとき狭いと思うことあり。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7	2		・部屋が空いていない場合は対応できないので状況にもよる。 ・場所が今は限られているのでしかたない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		5	3		勤務のタイミングによっては共有できていないことがある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	1		保護者のご意向を共有する機会を設けて、必要に応じて具体的な改善案を話し合えると良い。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	1	機会は設けられていないが、その都度相談できる環境である。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	5		外部評価について知らない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6	3		・土曜日のオンライン等研修が多いが勤務と重なり受講できないことが多い。 ・時間がない。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8	1		保護者への噛み砕いた説明の時間が必要。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		9	0	保護者に聞き取りを行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		9	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7	2		

児童発達支援

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	イベントにおいては、スタッフの意見を取り入れながらプログラムがつけられている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	季節に合わせたイベントを行っている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	イベントやグループ活動においては打ち合わせを行って、役割分担や支援内容を確認している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	イベントなどが終わった後は、スタッフで振り返りを行っているが、個別の場合は記録に残して共有している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		記録は大変役立っているが、効率とのバランスが取りにくい。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	必要に応じてできている。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	・ケースによって実施。 ・必要に応じて。	
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1		
32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	9			
33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0			

児童発達支援

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1		
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	必要に応じて実施。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	イベントなどで保護者懇談会を設けている。	
	40 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	4		マニュアルをいつでも確認できるように用意しておくとうい。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	7		緊急に対応できるように、定期的に訓練など行うと良い。
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	食物の提供はありません。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	3		・シェイクアウト訓練、避難訓練、災害発生時の対応等の確認の必要性。 ・計画は大枠のみ。
	50 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	3	身体拘束の必要な子は基本いない。親同席なので。		